

新垂水図書館基本方針

令和3年3月

神戸市

はじめに

1. 新垂水図書館整備計画の概要	3
1-1. 図書館の概要	
1-2. 周辺計画	
2. 現在の垂水図書館の状況	6
3. 利用状況と市民ニーズの把握	7
3-1. 「図書館ご利用の皆様へのアンケート」結果からみる利用状況	
3-2. 新垂水図書館アンケート調査	
3-3. 2つの調査から見えてくる市民ニーズ	
4. 新垂水図書館コンセプト・基本方針	15
4-1. コンセプト	
4-2. 基本方針	
(1) 学びを支援する図書館	
(2) 子供の成長を見守る図書館	
(3) 誰もが使いやすい図書館	
(4) 街に開かれ、交流を促す図書館	
4-3. 必要な設備機能	
5. 整備のスケジュール（予定）	19

はじめに

人口減少時代を迎えるなか、神戸市は、令和元年に「リノベーション・神戸」プロジェクトを発表しました。人口減少が続く市西部の拠点駅である名谷駅、垂水駅、西神中央駅周辺に対し「見違えるようなリノベーションを施し、心おどる駅前空間へ」をコンセプトに、若年子育て世代を誘引できる街づくりを進めていく、というプロジェクトです。

垂水駅周辺は、駅を中心に区役所をはじめとする様々な施設が集積するとともに、三宮までJRで約18分と交通利便性もよく、まちのポテンシャルが高いエリアです。一方で、公共・公益機能の老朽化など様々な課題があり、近隣自治体への転出も多くなっています。

新垂水図書館の整備は、これらの課題を解消し、便利で快適な市民生活の実現と若年世帯の流入促進に向けた環境を整備することを目的とした「リノベーション・神戸」の一環として計画するもので、駅前にシンボリックで目立つ街に開かれた図書館を建設することで、人が行き交う街づくり、地域の活性化に貢献することを目的の一つとしています。

同時に、新垂水図書館は、図書館本来の社会教育施設としての機能を十分に発揮できる施設でなければなりません。図書館を取り巻く環境は近年大きく変化しており、市民のニーズも多様化しています。その中で、地域の情報拠点であり、本を介した交流場所であり、市民が生活の中で直面するさまざまな課題に対して解決への支援をすることができる場所として、新垂水図書館を整備します。また整備にあたっては、木材を多用するなど温かみのある雰囲気をつくります。

「新垂水図書館基本方針（案）」は、このような目的を持った図書館の整備についての基本的な考え方を示すものであり、今後の設計・施工・運営等の各段階において、折にふれ、立ち戻るものになります。今後も市民の皆様のご意見を伺いながら、整備に向けて具体的な検討を行ってまいります。

1. 新垂水図書館整備の概要

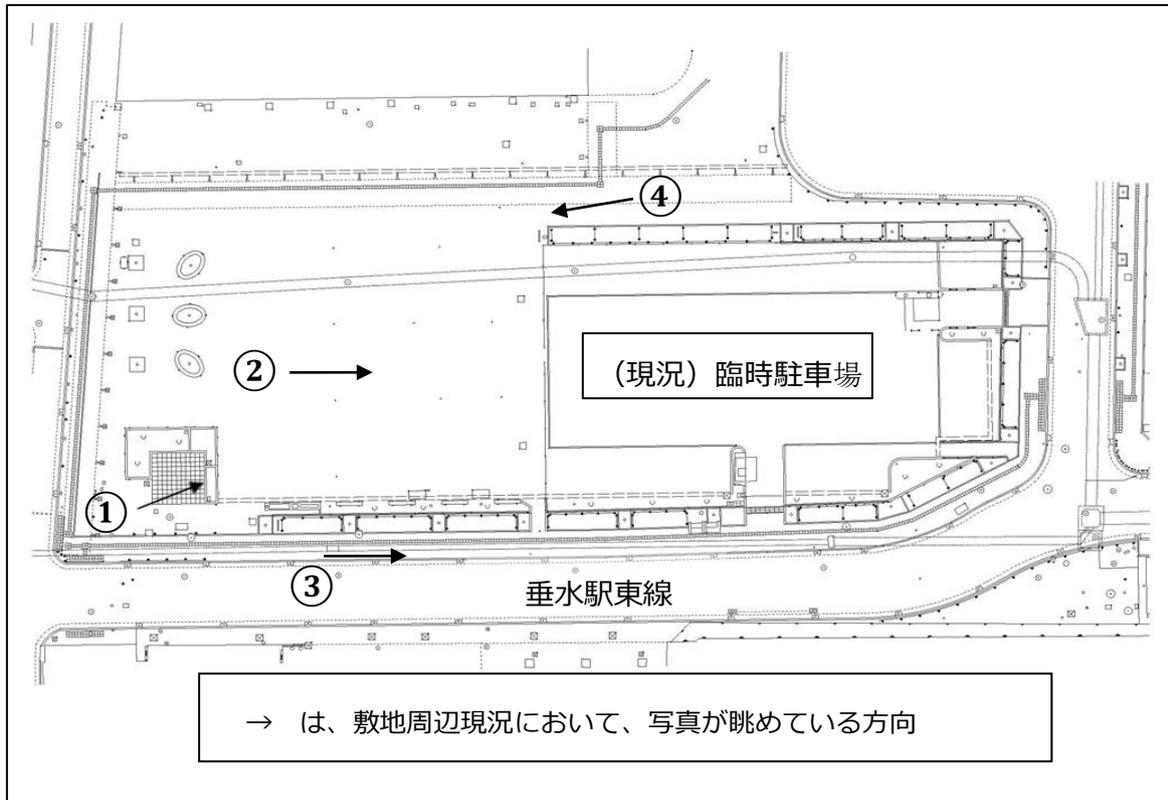
1-1. 図書館の概要

新垂水図書館は、現在の図書館のように複合施設内にあるのではなく、独立した建物として整備します。生まれ変わる海辺のまちの玄関にふさわしいシンボリックな建物となるよう整備を進めます。建物や規模の概要は、以下の通りです。

- ・ 計画予定地 : 垂水区日向 1 丁目 4 (現在臨時駐車場として使用中)
- ・ 各階用途 (想定) : 1 階 (返却ポスト、荷捌きスペース等)、2 階 (エントランス・閲覧室等)、3 階 (閲覧室等)、屋上広場 (ペントハウス等)
- ・ 屋外施設等 : 図書館附置義務駐輪場 (55 台程度)、図書館附置義務駐車場 (4 台程度)
- ・ 専有面積 : 1500 m²程度
- ・ 蔵書規模 : 10 万冊 以上
- ・ 付近見取図



・計画敷地状況図

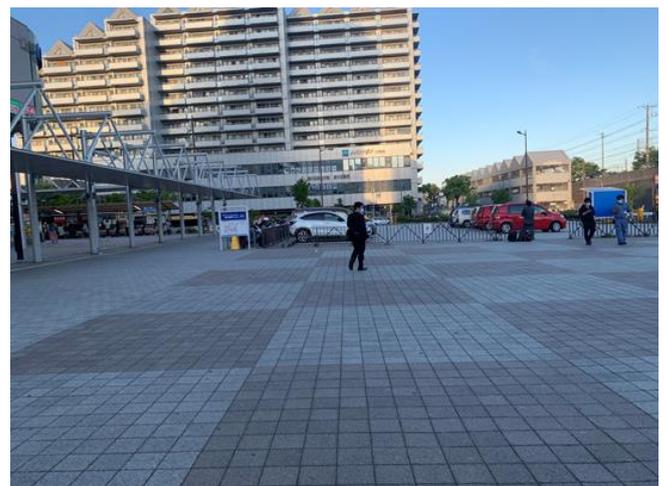


・敷地周辺現況

① 敷地南西 (いかなごモニュメント)



② 敷地西側



③ 敷地南側道路



④ 敷地北側



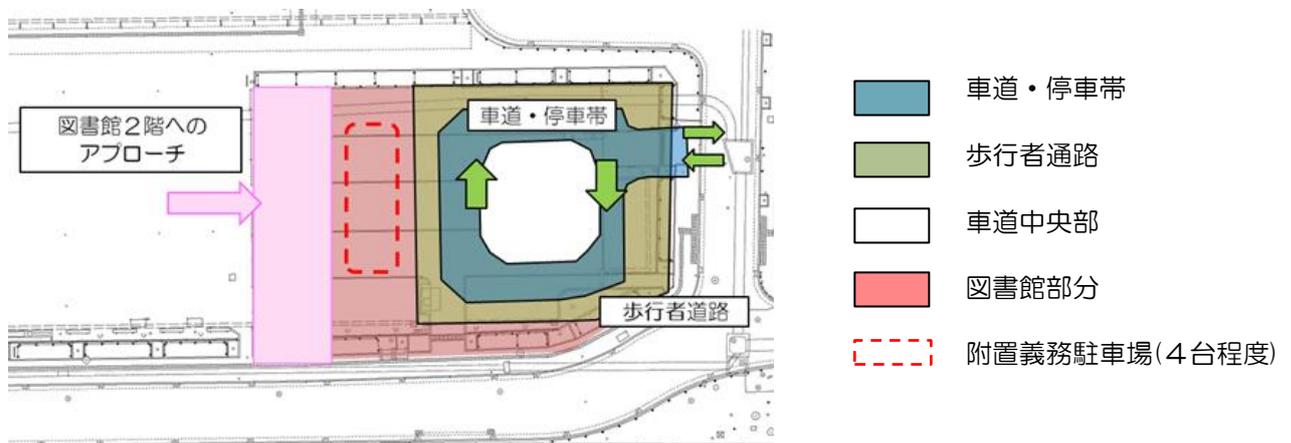
1 - 2. 周辺計画

新垂水図書館の整備にあたっては、図書館とともに1階部分に一般車両のロータリーを一体的に整備します。現在、垂水駅北東側では駅への送迎のための一般車両や、周辺商業施設への荷捌き車両を停車する空間が不足しており、周辺道路での路上駐車など駅周辺の渋滞や歩行者と車両の交錯など、利便性や安全性に課題が生じています。ロータリーを整備することで、これらの課題を解決しようとするものです。（都市局）

また、図書館西側の駅前広場は図書館との一体感を大切にしつつ、引き続きイベント等に利用できる空間となるよう植栽、照明、ストリートファニチャー、舗装等を更新します。（都市局・建設局）

さらに、現在、駅前広場と臨時駐車場を囲むように設置されている原動機付自転車の駐車場は、図書館建物の地下1階での整備を想定しています。（建設局）

1階部分のロータリー略図



2. 現在の垂水図書館の状況

垂水図書館は、平成3年11月、JR垂水駅の北東側、レバンテ垂水2番館の1階に開館しました。地域図書館としては8番目の整備でした。専有面積は686㎡で、開館当初の蔵書計画冊数は6万5千冊と、23万6千人という当時市内最大人口の区の図書館としては手狭でしたが、立地の良さから多くの市民に利用されてきました。

開館から29年目となる現在の垂水図書館は、年間45万2千人の入館者、22万2千人の貸出利用者があり、蔵書冊数は9万1千冊となりました（令和2年3月末）。

垂水図書館の延床面積を人口1000人で割った数値は3.2㎡/1000人となり、この数値は地域図書館10館中2番目の狭さです。また、昨今の図書館では、読書推奨のため、本の貸出以外にも子供や一般成人を対象にしたさまざまな催しを行っていますが、垂水図書館内には多目的スペースがありません。おはなし会は絵本コーナーに椅子を並べて開催しているほか、その他のイベントは文化センターの会議室を借りるなどして開催しています。

■「令和元年度 図書館ご利用の皆様へのアンケート」の自由意見からの抜粋

- ・図書館が小さすぎて、又本が古い、種類が少ない。
- ・館内での読書スペースが不足している。
- ・利用者数の割に手狭だと思います。広くして環境も整えてほしいです。
- ・大人も調べ学習をしたいので机を増やし学習する許可を出してほしい。
- ・もっと幅広い本を置いてほしい、自習室もほしい。地域の方々が一番利用するのが図書館だからもっと充実してほしい。
- ・自習するスペース（図書館の本を使っただけの）を広くしてほしい。大活字本を増やしてほしい。映画会や講演会や読書会を開いてほしい。大人の為の朗読会や読み聞かせ会を開いてほしい。

このような状況から、新垂水図書館整備方針として、当初から「十分なスペースを確保し、区民がゆっくと本に親しむことができるよう座席数を増やすなど、居心地のよい滞在型の図書館を目指すこと」を、掲げています。

3. 利用状況と市民ニーズの把握

3-1. 「図書館ご利用の皆様へのアンケート」結果からみる利用状況

「令和元年度 図書館ご利用の皆様へのアンケート」

- (1) 実施日 令和元年 11 月 27 日（水曜）
- (2) 実施方法 毎年 1 回、中央図書館・各地域図書館の全 11 館で中学生以上の来館者に用紙を手渡して実施
- (3) 垂水図書館回答数 765 枚配布、604 枚回収
- アンケート結果は図書館ホームページに掲載しています
- (4) データから見る利用状況

①利用者の世代

元年度	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	計 (%)
中央	6.9%	5.1%	6.6%	14.4%	15.0%	22.1%	28.7%	1.2%	100%
東灘	5.9%	2.4%	8.3%	14.8%	13.3%	19.8%	34.8%	0.7%	100%
灘	2.5%	3.8%	11.3%	17.7%	14.1%	23.3%	26.8%	0.6%	100%
三宮	1.8%	2.3%	10.1%	16.9%	20.3%	21.9%	25.2%	1.3%	100%
兵庫	0.7%	3.7%	8.7%	14.2%	17.7%	22.9%	30.4%	1.5%	100%
北	13.0%	2.4%	2.0%	11.5%	7.9%	24.5%	37.5%	1.2%	100%
北神	9.6%	2.9%	9.3%	10.7%	13.4%	23.2%	30.1%	0.7%	100%
新長田	2.8%	2.4%	10.0%	15.2%	15.2%	23.4%	30.0%	1.0%	100%
須磨	1.8%	1.4%	10.5%	17.5%	9.1%	23.2%	36.5%	0.0%	100%
垂水	1.2%	2.0%	5.1%	12.9%	13.6%	24.7%	39.6%	1.0%	100%
西	1.1%	1.6%	4.9%	14.4%	10.8%	28.3%	38.0%	0.8%	100%
全館	4.0%	2.8%	7.9%	14.6%	14.0%	23.5%	32.3%	0.9%	100%

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入。以下に続く各表にも同様の処理を行っています

世代別では、全館の数値に比べて、10代から50代の割合が低く、60代以上の割合が高くなっています。70歳以上の割合は全館の中でも最も高く、高齢者の利用が多いことが分かります。

②滞在時間

元年度	15分未満	15分から 30分未満	30分から 1時間未満	1時間から 3時間	3時間以上	無回答	計 (%)	30分未満 の利用
垂水	20.2%	40.6%	27.2%	9.6%	0.7%	1.8%	100%	60.8%
西	19.1%	38.3%	30.2%	8.6%	1.0%	2.9%	100%	57.3%
三宮	22.8%	33.6%	29.4%	12.3%	0.8%	1.2%	100%	56.3%
灘	18.3%	37.4%	32.2%	8.9%	1.4%	1.7%	100%	55.7%
新長田	19.0%	36.6%	29.3%	11.4%	1.7%	2.1%	100%	55.5%
須磨	16.8%	36.5%	33.3%	10.9%	0.4%	2.1%	100%	53.3%
兵庫	18.5%	27.2%	32.7%	17.2%	2.2%	2.2%	100%	45.6%
北	9.1%	36.4%	28.1%	15.0%	9.9%	1.6%	100%	45.5%
東灘	12.4%	30.3%	34.8%	17.2%	4.0%	1.2%	100%	42.8%
北神	9.1%	32.7%	35.9%	15.8%	4.4%	2.2%	100%	41.7%
中央	5.9%	17.6%	36.3%	27.9%	10.6%	1.7%	100%	23.5%
全館	15.7%	33.1%	32.0%	14.2%	3.2%	1.9%	100%	48.7%

滞在時間が30分未満の方が6割を占め、他の地域館よりも滞在時間が短い傾向があります。

③利用目的

元年度	予約本 (雑誌) の受取り のため	本(雑 誌)の返 却のため	読みたい ものを探 して借り るため	A.本や雑 誌・新聞 を読むた め	B.調べ物 をするた め	C.その他	無回答	計 (%)	一定時間を必要 とする利用目的 の割合(A+B+C)
北神	10.5%	14.7%	22.3%	19.1%	5.6%	14.5%	13.2%	100%	39.2%
中央	8.3%	14.0%	25.9%	15.0%	9.7%	14.0%	13.0%	100%	38.7%
北	13.4%	23.3%	14.2%	14.2%	2.0%	16.6%	16.2%	100%	32.8%
兵庫	13.5%	18.5%	24.7%	20.9%	5.2%	3.2%	14.0%	100%	29.4%
新長田	16.6%	19.7%	22.1%	19.7%	5.9%	3.8%	12.4%	100%	29.3%
東灘	16.9%	18.3%	21.6%	12.1%	3.4%	10.2%	17.6%	100%	25.7%
須磨	11.2%	24.6%	24.9%	18.6%	2.8%	3.9%	14.0%	100%	25.3%
垂水	16.7%	20.2%	27.6%	15.7%	3.5%	3.0%	13.2%	100%	22.2%
三宮	19.3%	23.6%	23.6%	14.1%	3.2%	4.7%	11.6%	100%	21.9%
灘	20.7%	25.0%	21.6%	13.8%	2.7%	3.6%	12.7%	100%	20.0%
西	21.0%	23.9%	23.6%	12.8%	2.3%	3.2%	13.3%	100%	18.2%
全館	15.8%	20.4%	23.4%	15.5%	4.3%	7.1%	13.6%	100%	26.9%

一定時間を必要とする利用目的を、上記「A.本や雑誌・新聞を読む」「B.調べ物をする」「C.その他」とし、その割合の合計が高い館順に並べると、座席が少ない三宮・灘・西図書館と共に、垂水図書館も一定時間を必要とする利用の割合が低い結果となりました。

※自習席のある北神・中央・北・東灘図書館の「C.その他」の大部分は自習と思われます。

3-2. 新垂水図書館アンケート調査

「新垂水図書館基本方針(案)」を作成するにあたって、市民ニーズの把握のため、毎年実施している「図書館ご利用の皆様へのアンケート」に加え、「新垂水図書館アンケート調査」を行いました。

(1) 実施期間 令和2年2月21日(金)～3月31日(火)

(2) 配布・回収場所

- ・ 神戸市立垂水図書館
- ・ 予約図書受取コーナー2か所(神陵台小学校市民図書室、ブランチ神戸学園都市)
- ・ 垂水区役所まちづくり課
- ・ ユーステーション垂水
- ・ 図書館ホームページ上のアンケートフォームにより回答(Web回答)

(3) 回答内容

新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念された時期の実施となりましたが、373件(うち、Web回答193件)の回答をいただきました。

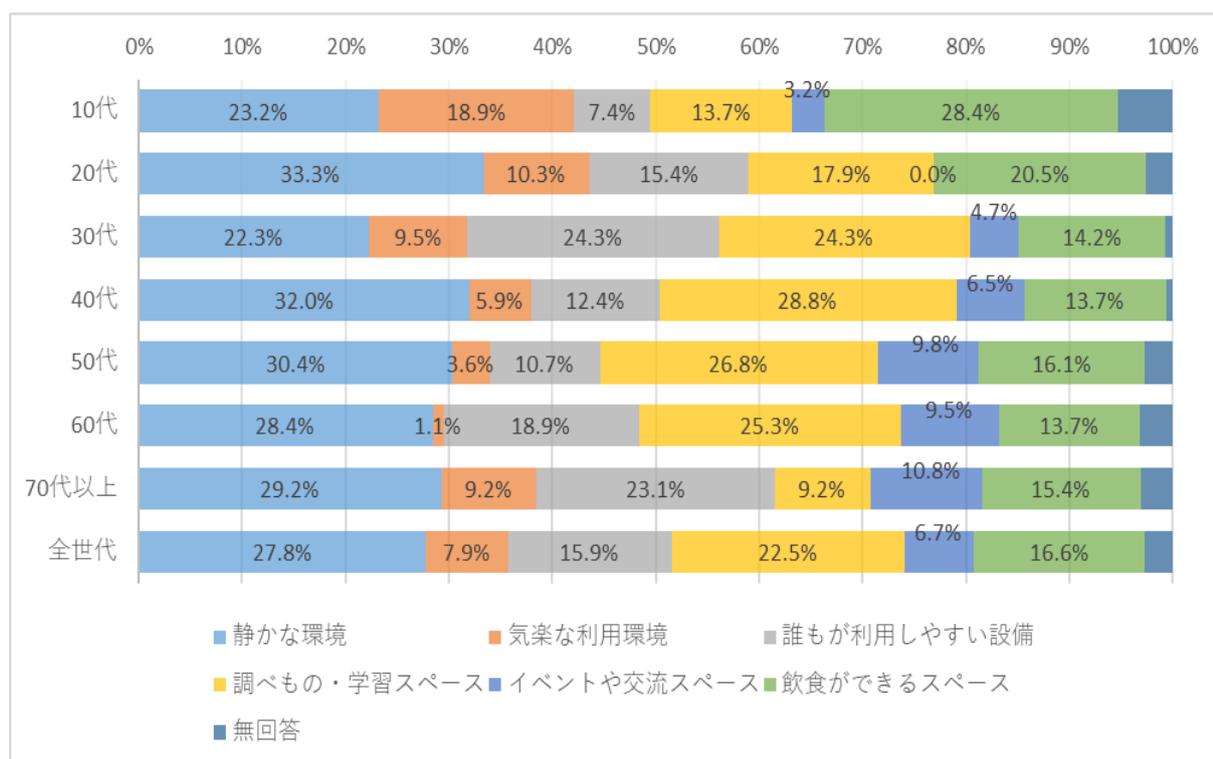
以下、アンケート結果の一部を取り上げます。その他、いただいたご意見などは、図書館ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

新垂水図書館 アンケート調査結果	検索
------------------	----

<https://www.city.kobe.lg.jp/a09222/kosodate/lifelong/toshokan/newlib/tarumi/tyosakekka.html>

①「新しい図書館に必要と思われる機能や設備（2 つまで選択）」の年代別回答割合

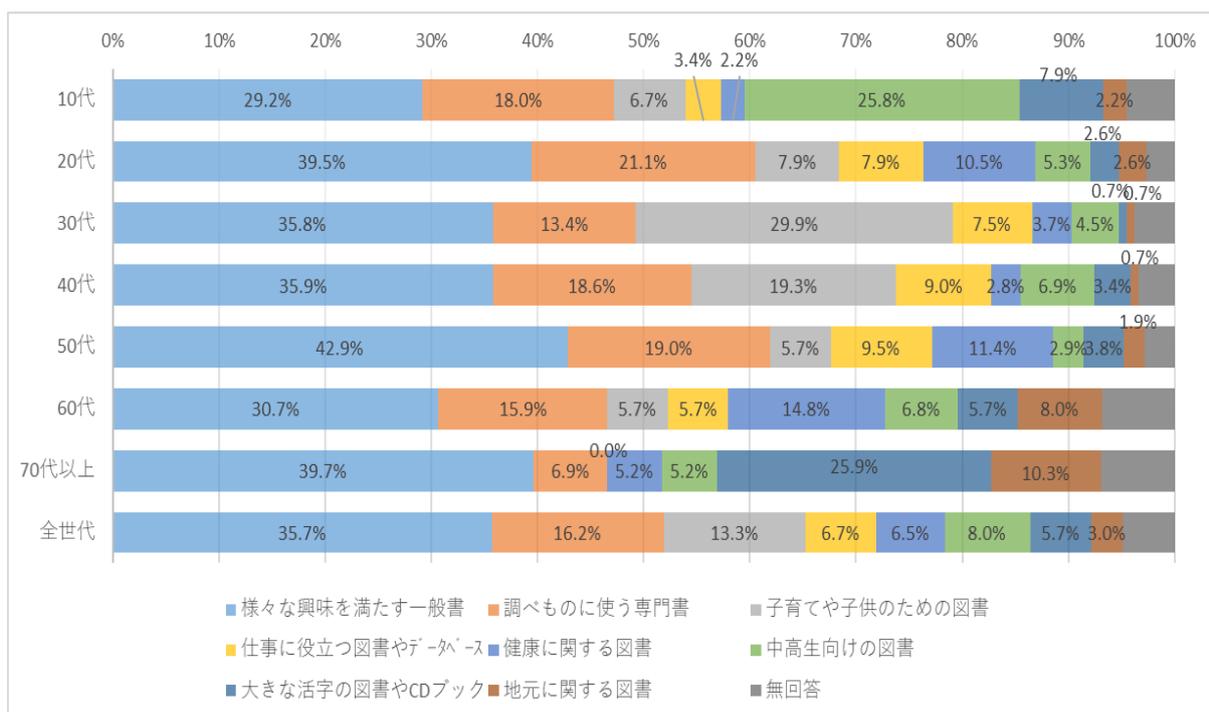
	静かな環境	気楽な利用環境	誰もが利用しやすい設備	調べもの・学習スペース	イベントや交流スペース	飲食ができるスペース	無回答	計	総計(人)
10代	23.2%	18.9%	7.4%	13.7%	3.2%	28.4%	5.3%	100%	95
20代	33.3%	10.3%	15.4%	17.9%	0.0%	20.5%	2.6%	100%	39
30代	22.3%	9.5%	24.3%	24.3%	4.7%	14.2%	0.7%	100%	148
40代	32.0%	5.9%	12.4%	28.8%	6.5%	13.7%	0.7%	100%	153
50代	30.4%	3.6%	10.7%	26.8%	9.8%	16.1%	2.7%	100%	112
60代	28.4%	1.1%	18.9%	25.3%	9.5%	13.7%	3.2%	100%	95
70代以上	29.2%	9.2%	23.1%	9.2%	10.8%	15.4%	3.1%	100%	65
無回答	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	100%	5
全世代	27.8%	7.9%	15.9%	22.5%	6.7%	16.6%	2.7%	100%	—
総計(人)	198	56	113	160	48	118	19	—	712



全世代の割合では、「静かな環境」を望む方の割合が 27.8%と一番多くなりましたが、10代では「飲食ができるスペース」を、30代では「誰もが利用しやすい設備」「調べもの・学習スペース」を一番に求められています。30代の「誰もが利用しやすい設備」は、主に乳幼児～児童の利用を意識したご意見と思われる。全世代の割合では、「調べもの・学習スペース」が二番目、「飲食ができるスペース」が三番目という結果になりました。

②「新しい図書館でどんな本が読みたいか（2つまで選択）」の年代別回答割合

	様々な興味を満たす一般書	調べものを使う専門書	子育てや子供のための図書	仕事に役立つ図書やデータベース	健康に関する図書	中高生向けの図書	大きな活字の図書やCDブック	地元に関する図書	無回答	統計 (%)	総計 (人)
10代	29.2%	18.0%	6.7%	3.4%	2.2%	25.8%	7.9%	2.2%	4.5%	100%	89
20代	39.5%	21.1%	7.9%	7.9%	10.5%	5.3%	2.6%	2.6%	2.6%	100%	38
30代	35.8%	13.4%	29.9%	7.5%	3.7%	4.5%	0.7%	0.7%	3.7%	100%	134
40代	35.9%	18.6%	19.3%	9.0%	2.8%	6.9%	3.4%	0.7%	3.4%	100%	145
50代	42.9%	19.0%	5.7%	9.5%	11.4%	2.9%	3.8%	1.9%	2.9%	100%	105
60代	30.7%	15.9%	5.7%	5.7%	14.8%	6.8%	5.7%	8.0%	6.8%	100%	88
70代以上	39.7%	6.9%	0.0%	0.0%	5.2%	5.2%	25.9%	10.3%	6.9%	100%	58
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100%	4
全世代	35.7%	16.2%	13.3%	6.7%	6.5%	8.0%	5.7%	3.0%	4.8%	100%	—
総計 (人)	236	107	88	44	43	53	38	20	32	—	661



全世代を通じて、「様々な興味を満たす一般書」を望む方が35.7%と一番多くなりました。一方で、二番目に多い項目は、10代では「中高生向けの図書」、20代・50代・60代では「調べものを使う専門書」、30代・40代では「子育てや子供のための図書」、70代以上では「大きな活字の図書やCDブック」と、世代によってはっきり分かれました。

③アンケートの自由意見からの抜粋

A.図書館全体の機能や雰囲気・・・・・・・・・・・・・135件（45.8%）

- ・今の垂水図書館は学習スペースがなく、学習したい時は他の図書館に行かなくてはいけないので、新しい図書館にはぜひ落ち着いて学習ができるスペースを作ってください。作っても少ないと利用しにくいので、そのあたりも考慮して頂けるとありがたいです。（40代）
- ・垂水図書館はいつ行っても多くのご高齢者が静かに読書されており、子連れで行くと少し肩身が狭いです。子どもがのびのびと本と親しめる図書館を希望します。垂水駅周辺にはキッズスペースもないので、小さい子どもがちょっと遊べて、親も本を楽しんだり息抜きできる場所になればなお嬉しいですね。テーブルや椅子が少なく学習スペースも広がれば嬉しいです。新しい図書館に期待しております、ぜひ素敵なものにして下さい。（30代）
- ・本来図書館は本に親しむ場所です。おしゃべりは別の場所で十分にできます。飲食ももちろんです。静かな場所が非常に少なかった現在図書館の意義は大きいと思っています。本の内容がちゃんと頭に入ってくる静かな環境を切望します。（50代）
- ・あかし市民図書館のように、静かに調べものや学習ができる空間と、カフェコーナーやイベントルームが分かれているようにしてほしいです。（50代）
- ・自由スペースや、くつろぐスペースなどまた来たいと思えるような施設になってほしい。（10代）

B.蔵書について・・・・・・・・・・・・・47件（15.9%）

- ・専門書を充実させてほしい。汚れた本、こわれた本は、直したり、買いかえてほしい。（30代）
- ・中央灘図書館みたいにAVブースを作ってほしい。DVDブルーレイを視聴したりくつろげる中庭も設置してほしい。CDを聴視したりしたい。（40代）
- ・高齢者、老眼など本は好きでも活字を追うのが疲れる為、小説の朗読ものなど、少しあればよいなと思います。（50代）
- ・子育て中なので子育てに関する本や絵本などがたくさんあればうれしいです。（30代）
- ・予約が多い図書の充実。ガイドブックなど改訂があれば最新のものに。読みたいもの、おすすめのものなど相談できる人材の充実。（60代）

C.具体的な設備について **33件 (11.2%)**

- ・他の図書館で、1人用の仕切りのある読書スペースがあると、落ち着いてとても良かったので、そういうスペースを作ってほしいです。(40代)
- ・女性用、男性用どちらのトイレにも2、3歳頃からの男の子が使えるサイズの男性用小便器を設置して欲しい。また子供用大便器の設置か、あるいは補助便座の設置をしてもらえると子供連れでも利用しやすくなる。今は大人用しかないのが不便である。授乳室の設置。コインロッカーの設置。(30代)
- ・本の除菌ができる機械があると聞いたことがあります。ぜひそれを導入してほしいです。(40代)
- ・カフェコーナーよろしくお願いします。自販機でもいいです。(70代以上)
- ・図書館ビル内に24時間返却OKな返却ポストの設置。(50代)

D.図書館の運営や行事等 **57件 (19.3%)**

- ・小さい子向けのイベントだけでなく、小学校(高・中学年)のイベントがほしい。(10代)
- ・最近は図書館のサードプレイスが言われています。米国の公共図書館のように学習支援、高齢者の交流の場など地域団体に開かれた場にしたり、起業や調べ物のサポートなど司書さんに活躍してもらおう機会を設けるなどしてほしい。パソコンを使って作業できる場もほしいです。(50代)
- ・図書館はやはり静かに利用したいと思っています。しかし絵本は読んであげる本です。子供に読んであげるスペースはあるのですが、声を出すので絵本専用の個室を作ってほしいです。おもちゃなど遊ぶものはいいありません。絵本に集中できません。ガラス張りでの様子を見やすくここで絵本を読んであげられるんだとすぐに分かるようにしていただくと初めてのママにも分かりやすいです。またそこに畳スペースがあると嬉しいです。絵本の読み聞かせや絵本の紹介のイベントも増やしてほしいのと、年齢別に分けてほしいです。(30代)
- ・NDLサーチや神戸市立中央図書館などのデジタルアーカイブ等のインターネットを介したデジタルアーカイブの閲覧の充実・フリーWi-Fiの設置・郷土史や地元の機関・企業等の歴史を詳しく調べることができる書籍の充実・こどもが本に興味をもつイベント(読み聞かせ・ビブリオバトル等)の開催(40代)
- ・気軽に利用できる駐車場がほしいです。(30代)

E.開館日・時間 **6件 (2.0%)**

- ・9時開館にしてほしいです。(50代)
- ・開館時間を平日・土休日とも7時半～20時にしてほしい。(10代)
- ・ランチでの予約受取時間があまりにも限定され過ぎて使えません。普段はあかし図書館を利用しています。平日は晩9時まで開館されていて仕事をしていても利用しやすいです。垂水図書館でもぜひとも採用してほしいです。(40代)

F.その他 **23件 (5.8%)**

3-3. 2つの調査から見えてくる市民ニーズ

現在の垂水図書館は、平成3年の開館当初、非常に喜ばれ、記録によると開館1カ月を経過しても、連日多くの新規登録者・貸出利用者が来館されたとあります。以来、気軽に本を借りられる「駅前図書館」としての機能を果たしてきましたが、およそ30年を経た今、人々が図書館に求める機能も変化してきました。調査結果からは、垂水図書館では、読書や調べもののために利用される方の割合が低く、滞在時間が短い傾向があることがわかりました。蔵書数や座席数が不十分なためと考えられます。

また、新しい図書館に関するアンケート結果からは、「静かな環境」「調べもの・学習スペース」「飲食ができるスペース」が望まれていることや、蔵書としては、「様々な興味を満たす一般書」「調べものに使う専門書」へのご希望が多いということがわかりました。多くの方が、ゆっくりと調べものもできる滞在型の図書館を望んでいることが伺えます。

アンケート調査の自由意見でも、小さな子供とのびのび絵本を楽しめるスペース、自習ができる席、カフェコーナーなど、本を借りるだけでなく、図書館で過ごすということを念頭におくご意見が多数寄せられています。また、にぎやかなスペースと静かなスペースを分けてほしい、というご意見も多くありました。

これらの結果から、気軽に本を借りられる従前からの機能はそのままに、読書や自習、調べもののために一人で静かに過ごす、友人と一緒に本を楽しむ、子供と絵本の読み聞かせを楽しむなど、多様な使い方を選べる図書館が望まれていることを念頭に、基本方針をまとめることとしました。

4. 新垂水図書館コンセプト・基本方針

4-1. コンセプト

人と本のみなと

～ 生涯の学びを支える情報拠点 ～

新垂水図書館は、人やものが集まる港のように、本や情報が集まる場所、人が集まり交流する場所となります。誰もが訪れやすく使いやすい場所、居心地よく過ごせる場所、必要な情報を選び取り創造性を育む場所、読書や学習意欲の向上と課題解決を支える場所となり、あなたの心のみなととして、日々の暮らしに寄り添います。

4-2. 基本方針

(1) 学びを支援する図書館

- ・ 青少年の進学や就職、成人の学び直しに役立つ資料を入門書から専門書までバランスよく収集・提供し、区民の学びを支援します。
- ・ 子育てに関する本や仕事に関する本、健康や介護に関する本など、それぞれのライフステージにおいて必要な情報を提供し、日々の暮らしの中の課題解決を支援します。
- ・ 知的好奇心を満たす様々な本を提供するとともに、展示やイベント等を通して、思いがけない本との出会いの機会を作ります。
- ・ データベースや電子資料等、紙媒体に拠らない情報や資料を提供します。
- ・ 求める本や情報に効率的に行き着くための利用講座の開催や情報発信に努めます。
- ・ 図書の閲覧や調べもの用の座席も居心地の良さを考慮し、自習ができる座席も可能な限り用意します。
- ・ 一部の座席は公衆無線LANやパソコン用の電源が利用を可能とするほか、座席管理システムを導入し、スムーズな利用環境を提供します。

(2) 子供の成長を見守る図書館

- ・乳幼児から高校生まで、子供の読書習慣の形成を手助けする豊富な資料を収集・提供するとともに、イベント等を通じ、本に親しむ機会を作ります。
- ・親子で気兼ねなく本を楽しめる環境や、同年齢の子供を持つ親同志が本を介して交流できる機会を提供します。
- ・異年齢の子供たちが、それぞれの居場所としてくつろいで読書を楽しめるしつらえの児童コーナーを作ります。また、年齢に応じて選びやすいよう絵本の配架を工夫します。
- ・中学生や高校生が立ち寄りやすく、本に手を伸ばしやすい空間を作ります。

(3) 誰もが使いやすい図書館

- ・音に係るゾーニングを重視し、集中して静かに読みたい人や、声に出して読みたい人、対話をしながら学びたい人など、それぞれが目的に応じて使う場所を選べるとともにゆったり過ごせる図書館を目指します。
- ・ユニバーサルデザインの考え方を重視し、オストメイト等を設置した「こうべ・だれでもトイレ」や、十分な通路幅を設けるなど、障害のある方や高齢の方、幼い子供連れの方など、誰もが使いやすい図書館を目指します。
- ・関係機関と連携し、読書が困難な方を支援する図書や機器類を準備します。
- ・授乳室やこどもトイレなど、幼い子供と保護者が使いやすい設備を準備します。

(4) 街に開かれ、交流を促す図書館

- ・地域団体との連携イベントの開催や情報発信、区民の創造活動の紹介など、街と人が交流する機会と場所を提供します。
- ・世代や地域を超えて、さまざまな人々が本を介して出会い交流し学習する機会やボランティア活動の場を提供し、地域活動を応援します。
- ・地域資料の収集や展示・イベント等を通して、古墳時代からの歴史や伝統、坂と丘と海の景観に恵まれた「垂水暮らし」の魅力を伝えます。
- ・待ち合わせや短時間の打ち合わせなどに区民が気軽に使える空間を作ります。合言葉は「じゃあ、図書館で」。

4 - 3. 必要な設備機能

	設備・機能	解説
開架図書コーナー	一般書コーナー	小説やエッセイの他、興味を広げる教養書、生活に役立つ実用書などを幅広く提供。ソファや小机付椅子など様々な種類の座席を置き、目的に合わせて読書を楽しむコーナーとする。
	YA（青少年向け）コーナー	主に中高生を対象とした文学や、進路を考えるのに役立つ図書や雑誌を置く。一般図書コーナーの近くに設け、立ち寄りやすい雰囲気とする。
	児童図書コーナー	幼児から小学生向けの絵本、物語、図鑑など知識の本や雑誌、英語の絵本や多読用図書等も置く。一般図書コーナーとは離れた場所に設け、親子で気兼ねなく利用できる雰囲気とする。ごく幼い子供用と小学生用の2種類の椅子や、親子で座れる場所、カーペットスペースを備える。
	参考図書コーナー	百科事典や各種辞典、統計など調べ物のための本、データベース端末を置く。時間をかけて調べることができる場所とする。
	郷土・行政資料コーナー	神戸や兵庫県に関する本、阪神・淡路大震災関連の図書等を置く他、地域で発掘された文化財などを展示する。
	雑誌コーナー	幅広い分野の雑誌を置く。育児雑誌を児童図書コーナーに置く等、使い勝手を考え配置を工夫する。
	新聞コーナー	新聞をめくる音が他の利用者の気にならないよう、他のコーナーとは離れた場所に設置する。
	読書支援コーナー	大活字本、CDブック、LLブック（※1）、デージー図書（※2）など、高齢者や障害のある方が使いやすい図書を置く。また、音声読み上げ機能付拡大読書機、デージー対応端末等の機器を備える。

学びを支援するコーナー	学習室（席）	公衆無線LANと電源を備えた席と、パソコン使用不可のサイレント席、グループワーク室を設け、座席管理システムで管理する。
	セミナー室	スクリーンやプロジェクターを備え、図書館の主催・共催のイベントを催す。学校からの見学にも対応可能な広さとする。遮音機能や、補聴器利用者がマイクの声聞きやすくするための磁気ループを敷設。催しが無い時は、学習席としても利用する。
	展示・交流スペース	図書館の主催・共催のイベントや、展示を行うことが可能なスペース。エントランス近くに設け、西側広場で開催するイベントとも繋がりをもたせる。普段は飲食も可能な場所とする。
	休憩スポット	飲み物を提供し、読書や調べものに疲れた時に利用。飲み物の提供方法は検討を要する。
利用を支援するコーナー	おはなしの部屋	おはなし会（絵本の読み聞かせ等の会）などを行う。遮音機能を備え、外から見えるようにするなど防犯に配慮する。催しが無い時は、小さな子供や保護者が靴を脱いでくつろげる場所とする。
	こどもトイレ・授乳室・おむつ交換台	こどもトイレと授乳室は、児童図書コーナーの近くに設置する。おむつ交換台は男性トイレにも設置する。
	みる・きく・はなす部屋（読書支援室）	防音機能を備え、視覚に障害のある方向けの対面朗読室として利用する他、大きな声で読んだり話したりする必要のある人達が、気兼ねなく使える場所とする。
	多目的トイレ	オストメイト対応設備や、折り畳み式多目的シートなどを備えた「こうべ・だれでもトイレ」を設置する。
利用を便利にする機器	蔵書検索機（OPAC）	自身で市立図書館の蔵書を検索することができる。ネットワークサービスの利用を申し込めば、図書の予約や、貸出状況・予約状況の確認も可能。
	自動貸出機・自動返却機	窓口を介さず、貸出や返却を行うことのできる機器。窓口職員が支援しやすい位置に設置する。
	予約図書セルフ受取コーナー	窓口を介さず、自身の予約図書を受け取ることのできるコーナー。

	座席予約端末	館内の座席の利用状況を画面で確認でき、空席がなければ予約が可能。
	返却ポスト	館外のロータリーからアクセスしやすい場所に設置する。
	書籍消毒機	紫外線の照射によって書籍を消毒する機器を設置する。
	デジタルサイネージ	図書館の利用案内やイベントのPRなど。聴覚に障害のある方へのお知らせにも使用する。
管理 エ リ ア	カウンター周辺	杖使用の人や車いすの人が立ち寄りやすいしつらえとする。磁気ループを敷設する。
	事務作業スペース	相当多くの図書物流が見込まれるため、利用者動線と交わらない管理者動線と一定の広さを確保する。
	その他	図書館附置義務駐輪場 55 台程度、附置義務駐車場 4 台程度設置。

- ※1 誰もが読書を楽しめるように工夫してつくられた、やさしく読みやすい本。スウェーデン語の「Lättläst」（英語では、Easy- to- read）の略
- ※2 「Digital Accessible Information SYstem」（アクセシブルな情報システム）の略。もともとは視覚障害者の読書のために開発された国際標準規格。「音声デージー」のほか、さまざまな情報を盛り込んだ「マルチメディアデージー」もある。

5. 整備のスケジュール（予定）

- ・ 令和2年度～3年度 設計事業者決定～設計
- ・ 令和4年度～ 工事
- ・ 令和5年度～6年度 竣工